

科目名	海外語学研修	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			国際学科	□ 必修 ■ 選択	
			学科	□ 必修 □ 選択	
英文表記	A short term language study abroad program	開講年次	□ 1年 ■ 2年 □ 3年 □ 4年		
		開講期間	□ 前期 □ 後期 ■ 通年 □ 集中		
ふりがな	みうら かおる	実務家教員 担当科目		修得単位	4 単位
担当者名	三浦 薫	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	短期語学研修プログラムに参加することで、言語能力向上を図ることにとどまらず、五感で海外を感じ、海外の人と文化に触れ、人間的な成長を目指す。短期であっても日本を出ることで、各々の世界観を変え、将来への目的意識を明確にする。				
到達目標	夏季休暇を利用した短期留学で自分を変える。短期だからこそモチベーションをキープし続けることが可能で、集中して目標達成に向かえる。				
授業概要	15 コマの事前学習、7 コマの事後学習、9 コマは実際の海外実習分に充てる。留学に際して十分な英語力を身につける学習を行う。				
授業計画					
第1回	海外語学研修について その目的と意義	第17回	現地からのレポート第1回		
第2回	留学・語学研修経験者の発表①	第18回	現地からのレポート第2回		
第3回	留学・語学研修経験者の発表②	第19回	現地からのレポート第3回		
第4回	準備①目標設定と情報・資料集め 留学先選定	第20回	現地からのレポート第4回		
第5回	準備②目標設定と情報・資料集め プログラム	第21回	現地からのレポート第5回		
第6回	準備③研修先の決定 <実際の手続き開始>	第22回	現地からのレポート第6回		
第7回	準備④研修先におけるプレゼンの練習	第23回	現地からのレポート第7回		
第8回	準備⑤ 自己紹介	第24回	現地からのレポート第8回		
第9回	英語特訓① リーディング	第25回	現地からのレポート第9回		
第10回	英語特訓② リスニング	第26回	研修成果発表の準備		
第11回	英語特訓③ ライティング	第27回	研修成果発表①		
第12回	英語特訓④ スピーキング	第28回	研修成果発表②		
第13回	英語特訓⑤ 総合	第29回	研修成果発表③		
第14回	英語特訓⑥ 総合	第30回	研修成果発表④ クラス内		
第15回	留学前の手続きの確認等	第31回	研修成果発表⑤ 国際学科生全員にむけて		
第16回	中間試験 (プレゼンテーション)	第32回	後期定期試験 (プレゼンテーション)		
授業時間外の 学習	毎回語彙テストを実施する。				
履修条件 受講のルール	<ul style="list-style-type: none"> ・2年生以上であること。 ・短期留学に必ず参加することが単位取得条件である。 (諸事情により、履修途中で参加できなくなった際は、単位取得ができなくなる恐れがあるので十分に考慮したうえで履修を決定すること) <ul style="list-style-type: none"> ・留学先およびプログラムはすべて自身の責任を持って探し、決定すること。 (留学に関するすべての手続きおよび留学に関わる費用はすべて自己負担となる) <ul style="list-style-type: none"> ・この科目に興味のある人は、今から興味のある海外短期プログラムやエージェントを探しておくこと。 				
テキスト	『英検準1級でる順パス単 5訂版』旺文社				
参考文献・資料					

成績評価の方法	<p>【単語テスト：30% 研修中のレポート：40% 授業内のプレゼンテーション：30%】 上記評価項目を基にして総合的に判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができない。 • 出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とする。 <p>授業中に無許可で退出した場合は欠席とする。</p>
オフィスアワー	火曜日の午後
成績評価の基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	<p>大学時代に一度は海外に留学したい人、または将来的に長期留学をしたいが、その前にお試しで短期留学に挑戦したい人、海外の文化を体験したい人、スパルタコースで短期間で集中的に語学力を向上させたい人など、短期留学には様々な目的があります。短期であっても海外留学には準備がかかるので、この科目に興味のある方は、今から短期語学プログラムをできるだけ自身で探しておくことをお勧めします。</p>